

(別紙様式)

令和4年度学校評価の実施状況等調査

学校名	那覇西高等学校
記載者名	教頭 金城 篤

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	2	1	40	4	2	50

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	3	3	0				6

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	377	939	0				1316

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()

5 令和3年度の学校評価を踏まえ、令和4年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①コロナ禍の諸制約がなくなり、各学科で特色を活かした取り組みを円滑に進めた。
②校長便りの発行、懸垂幕や記念碑の設置等を通して、校訓の定着と母校への誇り、所属意識の向上を図った。
③規律ある学習環境の確保と分かりやすい授業の実践を通し、学力の定着・向上に努めた。
④学校行事の着実な実施を通して学年・クラスの団結・交流を深め、母校への誇りと愛着を高めた。
⑤いじめや暴力のない学校、相談しやすい雰囲気醸成を通して、生徒の安心感を高めることが出来た。

6 令和4年度の学校評価で明らかになった課題

①家庭学習時間が総じて短く、生徒の学習習慣の定着について、改善の余地がある。
②早朝講座を活用した学力の定着について、教職員及び生徒間で肯定的な意見が半数未満となっている。
③オンライン授業の実施機会が無くなり、授業等におけるICTの活用頻度が全体的に低下している。
④「分からない」と回答する保護者の割合が多い項目もあり、保護者への情報提供方法について検討する必要がある。
⑤より積極的且つ効果的な外部人材の活用について、部・学年等で検討する余地がある。

7 令和4年度の学校評価を活かした令和5年度の改善点

①授業や講座内容の充実を図り、学力の向上を通して生徒一人ひとりの進路実現に繋げる。
②一斉形式の早朝講座の廃止に伴う家庭学習時間の確保・定着に向けた取り組みを検討する。
③通信環境が整わず積極的な活用が難しかった1人1台端末授業の定着を計画的に推進する。
④校内研修等を通し、教職員のICT活用能力の向上と授業での積極的な活用方法の研究を進める。
⑤保護者への確実な学校情報の提供と周知を徹底するため、Classi等の活用方法を研究する。